

いのちとくらしをまもる一冊

自然災害の被害を少しでも減らすために、
一人ひとりの防災意識を高めていきましょう

近年、全国各地で相次いでおこる自然災害は、規模や範囲が以前よりも大きく激しくなっています。平成27年9月の関東・東北豪雨や令和元年東日本台風により、私たちの暮らす小山市も大きな被害を受けたことは記憶に新しいと思います。

いつどこで発生するか分からない自然災害をなくすことは難しいかもしれません。しかし、災害の知識と対策を事前に学び防災意識を高めることで、災害による被害を最小限に抑えることはできます。

「小山市防災ガイドブック」には、「いのちとくらしをまもる」ための様々な情報が分かりやすく紹介されています。ふだんは、正しい知識を身につけて適切に備え、災害時には正しく判断して適切に行動するために、本ガイドブックをぜひご活用ください。

過去の災害



東日本大震災

2011 (平成23) 年 3月11日

東日本大震災は、太平洋側を中心とする広い地域に強い揺れと津波による甚大な被害をもたらしました。市内では4名が負傷し、約1,300棟の住宅でひび割れや瓦の落下などの損壊を生じたほか、約340箇所の塀が倒壊するなど、多くの被害が発生しました。



関東・東北豪雨

2015 (平成27) 年 9月

台風18号と、台風から変化した低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、記録的な大雨となりました。市内では住宅の浸水被害が、床上・床下を合わせて1,525棟発生しました。



令和元年東日本台風

2019 (令和元) 年 10月

強い勢力を保ったまま上陸した台風19号は、関東から東北の広い範囲に記録的な大雨をもたらしました。市内では住宅の浸水被害が、床上・床下を合わせて546棟発生しました。